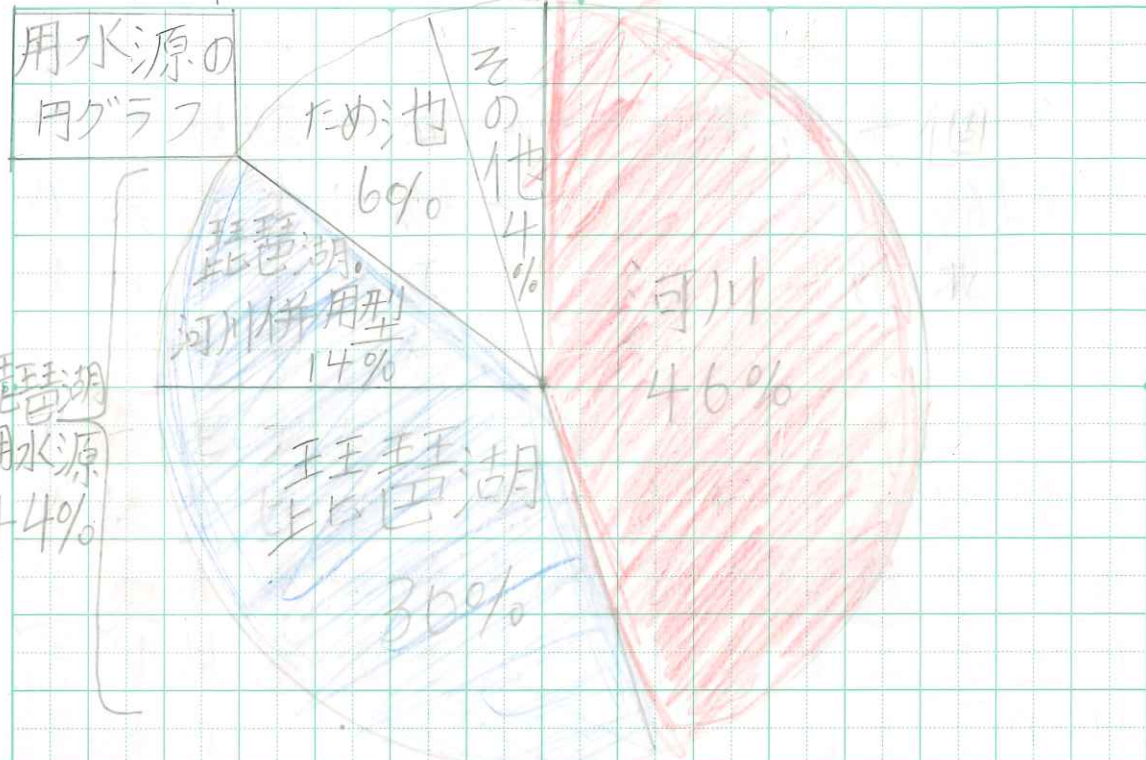


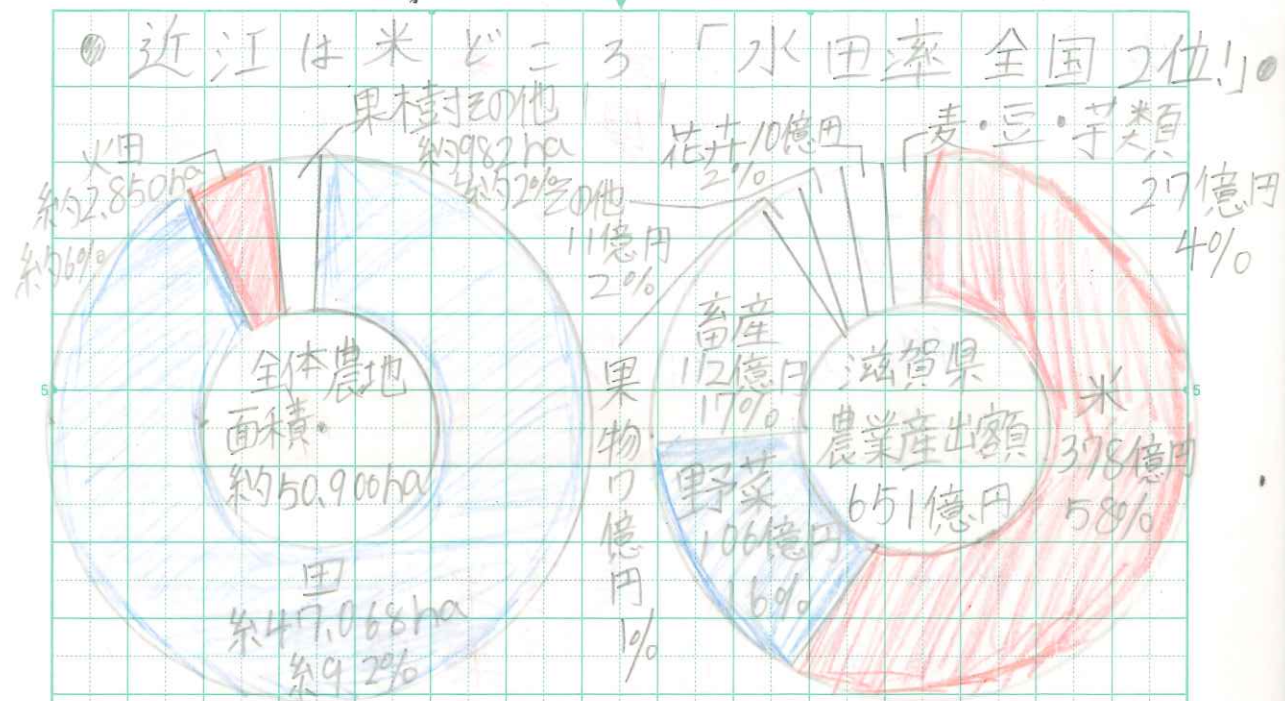
6時45分~7時35分 11月9日 木曜日 滋賀の農業についてしらべよう。



滋賀県は、その中央に県土総面積の約6分の1を占める、日本最大の湖「琵琶湖」があり、豊富な水資源に恵まれています。

滋賀の農業における大きな特徴の一つが、農地の約4割が、その琵琶湖を水源に用いることであり、琵琶湖からの揚水による灌漑（かんがい）水路を作って田畑に必要な水を引き、土地をうるおすこと）を、古くから進展させてきました。

月 日 曜日 めあて



「琵琶湖」という豊富な水資源を有する滋賀県では、その温和な気候と豊かな土壌が稲作に適していることもあり、古くから水田を利用した米を生産が行われています。現在でも「みずかがみ」や「コシヒカリ」といっ、た近江米の産地として、農業がさかんに行われており、農地面積のうち水田の面積は47,068haで「水田率」は約92%、全国で富山県に次いで2番

合となっています。

このような滋賀県の農業たまたま、びっくりしました。

